

会社組織

キーワード：終身雇用、内部労働市場

◎コーポレート・ガバナンス

金融機関（中核は**メインバンク**）や事業法人の持株割合が高く、「外部」の株主の影響力弱い

経営陣は内部昇進者が多い。

◎日本的雇用システム（せまい意味での雇用システム）

主として 3 つの要素からなる。

- ①**終身雇用（長期安定雇用）** 内部育成が主であること表裏の関係
- ②**年功賃金** 賃金の後払いとしての性格、長期勤続を促進
- ③**企業別労働組合** 外部労働市場との接点弱い

金融システムと雇用システムとの間には**制度的補完性**が存在する。
企業は資本市場の動向をさほど気にする必要がない。

◎広い意味での雇用システム

3 つの着目点がある。

①労働市場の二重構造

狭義の意味での日本的雇用システムが適用されない人々の存在
中小企業、非正規労働者、女性

②学校教育との接点

学校から職場への「**間断なき移行**」→若年失業率は低い。

③社会保障制度との接点

家族によるケア、高齢者重視（老齢年金）の社会保障制度。

内部労働市場と外部労働市場では賃金や処遇に格差がある。

新古典派経済学：労働組合の独占力が原因

ドリンジャー＝ピオーリ：「生産過程を通じて自然に形成された有機体」が原因
人間関係、組織内の非公式的なルールなどによって効率的な生産が可能に